

# ネイチャー・ウォーク

平成 年 月 号  
200 . . 発行  
(通巻第 号)

ECO SAITAMA (財)埼玉県生態系保護協会 部会：自然を歩く会

## ■先月のネイチャーウォーク

### 戦国知り得隊

#### ～武蔵野のお城をたずねて～

(JR 新座駅 ～ JR 東所沢駅)

ウォークの秋がやってきました！！  
風は涼しく、景色は秋の色に変わり、  
足取りも自然と軽やかになる秋。

今回は自然と歴史を堪能する欲張り  
なコースです。

出発時にはあいにくの曇り空で、寒い  
と感じた方も少なくなかったようです  
が、歩き出せば体もポカポカ暖かくな  
ります。道中で、上着を脱ぐ方も幾人か  
いらっしゃいました。



まるでバナナ？ 槐(サイカチ)の実

道中では、様々な生き物が秋のよそおいを  
見せてくれました。

柳瀬川沿いでは、槐(サイカチ)の大きな  
木がたくさんの実を実らせていました。

バナナのようなとか、投げたらブーメラン  
として使えるんじゃないかと言った声があ  
ちこちから聞こえてきました。実際に投げて  
みた人もいらっしゃったような・・・？

この槐の実の莢の部分は石けんとして使  
えるとの紹介に、驚きの声もあがっていま  
した。

清瀬下宿ビオトープに到着です。

ここでみなさんの関心呼んだことの1つは、クヌギの葉の裏に、びっしりとふしぎな赤く丸い謎の物体がついていたことでしょうか。

まるで木の実のようだとの声もありましたが、葉っぱに実がなるわけありません。

この正体は「虫こぶ」。

虫こぶとは、植物の内部に昆虫が卵を産み付けることによって、植物が異常に発達してきたこぶのこと。

虫こぶだけでなく、ウラゴマダラシジミの卵も見つかりました。こちらは葉っぱが変化したものではなく普通の卵。どちらがどちらなのか、思わず混乱してしまいますね。



クヌギの葉にびっしり付いた虫こぶ



こちらはウラゴマダラシジミの卵

次の目的地は滝の城。実はこの滝の城、小田原攻めの際に落城したこと以外はよく分からないお城です。しかし、当時の建物は残っていませんが、土塁やお堀などのお城の遺構を後世に残す貴重な文化遺産となっています。

本丸跡は今では神社になっていました。この神社の狛犬は、小さな狛犬と一緒の独特のもの。珍しいとか、かわいらしいといった声があがっていました。



お城の本丸跡地は神社になっていました。





マガモ？アヒル？謎の鳥。

つづく金山調節池には、不思議な鳥が待っていました。

姿はマガモだけれど、他のカモに比べて一回り大きく、泳ぐスピードも速い不思議な水鳥。一体何者（鳥）なのか、しばらくみなさんの話題を独り占めしていました。

それにしても、近くで写真を撮っても悠々と泳いでいたのは、貫禄からか、それ

とも人に慣れすぎているのでしょうか？

なお、サイズが大きいことから、アヒルではないかとのご指摘がありました。マガモのような姿をしたアヒルとして、アオクビアヒルというアヒルがいるのだそうです。

清瀬金山緑地公園に到着してお昼ごはんのあとは、恒例の認定証授与式です。今回は2名の方に認定証が授与されました。

おめでとうございます！！



オレンジ色が美しいベニシジミの姿

清瀬金山緑地公園からゴール地点の東所沢駅までの道中では、コサギやベニシジミが登場し、みなさんの関心を集めていました。

特にベニシジミは、鮮やかなオレンジ色が目立つ秋型のファッションで登場です。サービス精神たっぷりに、美しい姿をみなさんにアピールしてくれました。

今回は6km程度の短いコースでしたが、見所たくさん楽しかった1日でしたね。